

## 一般社団法人 SRJ砕石生産協議会 設立趣意書

戦後、わが国は焦土荒廃の中から世界に例を見ない急速な復興発展を遂げた。この過程において、道路・鉄道・電力・港湾・工場・住宅等、建設事業はあらゆる産業と人々の豊かな生活の基礎を築き上げてきた。

その傍らにおいて、我々砕石生産業は輸送等を含む建設資材の供給全般においてその役割を果たし、国土復興の実現に多大なる貢献を重ねてきた。経済復興の面においても、国内資源の活用による鉱工業の復興と雇用創出に取り組んできた。

また現在に至るまで、わが国では東日本大震災を始めとする大規模災害、台風等の甚大な被害を及ぼす数々の自然災害に遭遇してきたが、この復興にも我々砕石生産業は資材の供給等の面から社会生活基盤の復興のため貢献を積み重ねてきた。

而して我々砕石生産業各社は、わが国有事の際の国土復興において、これまで建設資材産業の一翼として正に礎石となる役割を担ってきたと考える。

しかしながら建設資材産業の現状は、理想的な姿にあるとは言い難い。品質規格不適合、偽造、それを隠ぺいするデータ改ざん等コンプライアンスに反する事象が社会問題として取り上げられている。我々砕石生産業においても、若者の現場就労離れや生産体制のイノベーション遅れ、周辺環境への配慮、安全保安体制の改善等、解決すべき幾多の課題に直面している。加えて世界の技術進歩が著しいなか、生産体制の自動化、IT・AIの導入、限りある天然資源の温存と有効活用、また人的資源の発掘と育成が緊急かつ重要な課題である。更に個々に及ばず業界にとっても将来の指導者たりうる逸材の創出が急務と考える。

勿論個々の対策を始め、我々を取り巻くステークホルダーの理解のもとほう助されている面はあるが、帰するところ、砕石生産業に携わる個々が自ら保有する資源の有限性と価値向上を考えることなく、自社はおろか業界の未来にかかる長期的構想の熟慮にいささか欠けるところがあるのではなからうか。

この現状に危機感を抱き、且つ

- ・わが国の「国土形成計画」「国土強靱化基本計画」政策に賛同し、国土の新生とリノベーションに今後も全力で貢献していくこと、
  - ・持続可能な砕石生産体制の確立を目指し、砕石生産業に携わる個々の経済活動を安心して営むことができること、
  - ・砕石生産従事者の社会的地位向上のため、安全・幸福・発展をもたらし、進んでは業界百年の安泰をはかっていくため、物心一如の真の繁栄と最大利益の享受を目指すこと、
- の基本理念を持った砕石生産業有志が結束した。真にモノ造りを愛し、モノ造りがわが国将来の発展に寄与するという信念の下、基本理念の探究と実現に向け、必要な調査、研究、広報活動等を行うため、協議会の設立を決意した。

設立にあたり、本会は砕石生産業有志による団体であるが、あくまでも生産職能人又は経営技術者という立場をとる。即ち販売・コマースリヤリ的立場は無色である。

また、本会はいずれの同業・関連の団体からも自由である。しかしながら、生産職能人として技術的分野を始め関連する様々な政策には関与していく。

日々の砕石生産に足場を持つ生産職能人の経験と知識が我が国の建設に関する施策に十分生かされなければ、秩序ある発展は覚束ないと考える。この点については、各関連他団体と緊密に連絡を取り、十分に協力していきたい。

よって、ここに「一般社団法人SRJ砕石生産協議会」の設立を発起する次第である。

2022年 7月 7日  
発起人代表 上田 純也